

普通階・無窓階算定書

(階)

防火対象物名称 _____

床面積 (A)	基準開口面積 (A／30)	有効開口部 面積合計	算定結果	※消防機関判定
			OK	

大型有効 開口部	開口部 位置 (方角)	建具番号	開口部種別	ガラス種別厚み		開口部下 端 1.2m以下	幅 (m)	高さ (m)	個数	有効開口面積	フィルムの 種類・厚み	備考
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		
										0.00㎡		

無窓階理由： _____

備考

- 1 消防法施行規則第5条の5の規定に適合する開口部のみ計上し、算定する有効開口部を記入すること。
- 2 直径1m以上の円が内接することができる開口部又は、その幅及び高さがそれぞれ75cm以上及び1.2m以上の開口部は大型有効開口部に○をすること。
- 3 算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し、算定している当該開口部がわかるように表示すること。
- 4 無窓階の場合、無窓階理由を記入すること。
- 5 必要に応じてシートをコピーし、階数ごとに算定書を作成すること。ただし、共通階にあっては、複数の階をまとめて作成することができる。

普通階・無窓階算定書

該当する階数を入力選択

(1階)

防火対象物名称 ○○ 新築工事

名称を入力

建具番号を入力

確認申請書第四面の該当する床面積を入力
ただし、十分に外気に開放されている部分で、かつ、屋内的用途に該当する部分は無窓階の

床面積 (A)	基準開口面積 (A/30)	有効開口部面積合計	算定結果	※消防機関判定
851.20㎡	28.37㎡	39.20㎡	OK	普通

自動反映のため、入力不要

入力不要

大型有効開口部	開口部位置 (方角)	建具番号	開口部種別	ガラス種別・厚み		開口部下端 1.2m以下	幅 (m)	高さ (m)	個数	有効開口面積	フィルムの種類・厚み	備考
○	北	AW-1	引き違い窓	普通板ガラス	6.0mm	○	1.50m	1.80m	3箇所	8.10㎡		
○			引き違い窓	網入板ガラス	6.8mm	○	0.75m	1.20m	5箇所	4.50㎡		
	東	AW-3	すべり出し窓	普通板ガラス	6.0mm	○	0.50m	0.80m	2箇所	0.80㎡	塩化ビニル 400μm	軽量シャッター スラット厚0.3mm
○	東	SS-1	軽量シャッター	スラット厚	0.9mm	○	4.00m	6.00m	1箇所	24.00㎡		水圧開放
○	北	AW-1	引き違い窓	複層ガラス	6.8mm	○	0.75m	1.20m	2箇所	1.80㎡		網入板ガラス 空気層6mm
					6.0mm	○						普通板ガラス

無窓階理由: _____

備考

- 消防法施行規則第5条の5の規定に適合する開口部のみ計上し、算定する有効開口部を記入すること。
- 直径1m以上の円が内接することができる開口部又は、その幅及び高さがそれぞれ75cm以上及び1.2m以上の開口部は大型有効開口部に○をすること。
- 算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し、算定している当該開口部がわかるように表示すること。
- 無窓階の場合、無窓階理由を記入すること。
- 必要に応じてシートをコピーし、階数ごとに算定書を作成すること。ただし、共通階にあっては、複数の階をまとめて作成することができる。

普通階・無窓階算定書

(全階)

該当する階数を入力選択

防火対象物名称

〇〇 新築工事

名称を入力

床面積 (A)	基準開口面積 (A / 30)	有効開口部 面積合計	算定結果	※消防機関判定
851.20㎡	28.37㎡	4.50㎡	NG	

大型有効 開口部	開口部 位置 (方角)	建具番号	開口部種別	ガラス種別厚み		開口部下 端 1.2m以下	幅 (m)	高さ (m)	個数	有効開口面積	フィルムの 種類・厚み	備考
○	北	AW-2	引き違い窓	網入板ガラス	6.8mm	○	0.75m	1.20m	5箇所	4.50㎡		

無窓階理由をプルダウンから選択
算定内容を入力後、算定結果がNGとなった場合、
有効開口面積不足のためをプルダウンから選択

無窓階理由： 大型有効開口部が二箇所以上ないため

備考

- 1 消防法施行規則第5条の5の規定に適合する開口部のみ計上し、算定する有効開口部を記入すること。
- 2 直径1m以上の円が内接することができる開口部又は、その幅及び高さがそれぞれ75cm以上及び1.2m以上の開口部は大型有効開口部に○をすること。
- 3 算定書には、配置図、建具配置図及び建具表を添付し、算定している当該開口部がわかるように表示すること。
- 4 無窓階の場合、無窓階理由を記入すること。
- 5 必要に応じてシートをコピーし、階数ごとに算定書を作成すること。ただし、共通階にあっては、複数の階をまとめて作成することができる。